

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成26年3月3日

〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目10番31号 電話093(541)2409番

痛かったやろ！ ＊大慈大悲 森田真円

人はそれぞれ、他の人間に対する願いを持っています。しかし、「こうあってほしい」という願いはいつも自分の都合から離れることはできません。

私の息子が小学校四年生のときでした。野球が大好きで、毎日のように友達とボールを追いかけしていました。ちょうどプロ野球のK選手のヘッドスライディングが注目されていたところです。そんなある日、私が私の母とともに帰宅すると、息子の足に包帯が見えます。野球をしていてケガをしたとのことでしたが、そのときの様子を聞けば、どうやらジャリカパラスの路上で思わずスライディングをしてしまった結果、五針も縫ったというのです。

私の一声はこうでした。 「なにしてたんや！」

その言葉の裏にある思いは、(小学校の四年生にもなったら、それぐらいの判断はできるだろう、もっとしっかりせんか!)であります。

ところが私と一緒に帰宅して、同じように事情を聞いていた私の母は、私の第一声と同時にこう言いました。 「痛かったやろ!？」

息子は頭の上で怒鳴っている父の顔よりも、腰をかがめて包帯をのぞき込み、自分までが痛そうに眉を寄せている祖母の顔を見ていたに違いありません。

「何してたんや!」も「痛かったやろ!」も願いをかけているものの言葉であります、その態度には大きな違いがあります。

私の願いには「こうあってほしい」「こうあるべきだ」という押しつけがあり、相手の苦しみをみず自分の思いが優先しています。腹を立てているのが、その証拠です。そんな願いが通じるわけがありません。それだけでなく、人間は自分のかける願いはよくわかるのに、自分にかかる願いには気がつきにくくできているのですから。

しかし、私の母の場合は、孫の痛みや過ちを自分の身体に感じようとしています。その願いは慈愛に満ちています。

人を慈しむとは、深い思いやりであり、そこには、自分の都合を忘れて、どこまでも相手に掛かりはてるという意味が含まれているでしょう。

自分の思いが優先している願いは、願い通りにならなければ、相手を責めるだけに終わって、いつかは見捨ててしまうかもしれませんが、真の願いは、あきらめるといことがありません。

阿弥陀さまの願い(四十八の願い)には、私たち一人ひとりの苦しみをご自身の痛みと感じて悲しみ、私たちに掛かりはてておられる姿がさまざまに表されています。

その中、第十八番目の本願には、「どうしても、人びとに本当の幸せを与えたい。それこそが私の幸せである。」という阿弥陀さまの願いの根本が示されてあります。

しかも「こうあるべきだ」と高みから見おろすものではありません。同じ場に立って、あきらめ見捨てることなく、「限りない願い」をかけ続けられるのであります。

独りで生まれ独りで死んでいく私に、生きている間はもちろん、生まれる前からも死んでからも、私に届くまで「本当の幸せ」を与えようとされるのが、阿弥陀さまの願いであります。

人は真の願いに出遇ってこそ、自分を見つめ、人に対して優しくありたいと願うのであります。

お泊り忘年会もいいもんだ！！



今年はこちらに
参りましょう！
お楽しみに



皆さん一緒に
行きましょう



山口・滝部温泉ありがとう！！お肌つるつる！！

御抹茶のお盆だて、お運び、お接待を、それぞれでがんばりました。！！

年長児・お茶席
いゆへいゆ

二十五年
度



位牌会

お預かりした
古い位牌等、最後
のお勤めを勤修、
無事焼却させて
いただきました。



3月8日(土)

10:00より14:00まで
彼岸法要の準備、納骨堂の清
掃等をします。お手伝いをお
願い致します。昼食用意して
います。

お参りって？ お寺からのお参りは、ご葬儀はもちろんのこと、お寺からお知らせする亡くなられた方の**年回法要（法事）**・年に一度の命日法要（**祥月命日参り**—ショウツキメイニチ）・月に一度の命日法要（**月忌参り**—ガッキ）その他、仏壇を求めた時の入仏法要・お墓や納骨に関する法要等を勤めます。又、お盆参り、彼岸参り、結婚式も勤めます。何れもお寺に申込みをし、日程を合わせてのこととなりますのでご相談ください。亡き方を偲びつつ、お寺とご門徒様とのご縁を深めるものとして**月忌参り・祥月参りは大切に勤めたいものです。**

ご 案 内

と き 平成 26 年 3 月 12 日 より 14 日 まで

春 季 彼 岸 法 要

	12日(水)	13日(木)	14日(金)
昼 席	午後1時30分 得 度 披 露	午後1時30分	午後1時30分

講 師 (下 関 市)

本願寺派布教使 寺 田 教 昭 師

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

ご 報 告 本年2月、三女一聖子が「**得度式**」(本願寺での習礼を受けて
僧侶となる儀式)を受け、本願寺派僧侶の一員とさせていただきました。
皆様方にご披露いたしたいと存じます。どうぞご参集下さい。

12日 昼 席 法 名 ^{しゃくじしやう}釈 慈 聖 (^{さか い せい こ}酒 井 聖 子) **得 度 披 露**



度 牒



本願寺 御影堂にて

行事ご案内

【如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし】

4月8日は「お釈迦様の誕生日」みんなでお祝いしましょう

花まつり・甘茶接待

【日 時】 4月8日(火)午前11時より午後1時まで【会 場】 正善寺・神岳保育園玄関前
同日 午後1時より3時頃小倉仏教会主催且過丸和前にて開催

初参式 (しょさんしき) 正善寺本堂にて

【と き】 6月1日(日) 午前11時開始

小さいお子様がお寺の仏様の前で初めてのお参りをする儀式です。最近生まれたお子様はぜひ参加しましょう。家族でおいで下さい。お待ちしております。

次回の法要のご案内 永代経法要

【と き】 5月31日(土) 昼席 ・6月1日(日) 昼席 (昼席2日間)

【講 師】 当山 正善寺 住職 酒井光義

編集後記

光の中に春の訪れを感じます。Yさんに頂いたお寺の庭の初嵐(椿)が可憐な花を咲かせています。12月Yさんの娘さんがお参りにきて下さった日、小雪が降る中、初めての一輪

が咲きました。その一輪がとてもきれいで、雪景色の中輝いて見えました。Yさんは優しい娘さんのことを今もずっと思っておられるのだなと思いました。それから春を待って、今、初嵐がたくさん咲いています。Yさんがすぐそばにいて下さるような気がします。

そして、春の始まり、この度、三女の聖子が浄土真宗のお坊さんになるため、京都西本願寺の西山別院にて11日間の習礼を頂いています。「お坊さんになります」と自ら決意して、言ってくれたことを住職も私もとてもうれしく思いました。生まれたとき「どうなるんだろう。ではなくて、どう育てていくかが私たちの使命だよ。」と住職が言いました。

仏様の声(王)を耳できいて、「南無阿弥陀仏」ととなえる子に育ててほしいと聖子と名付けました。この度、僧侶としての法名は、慈聖を頂きました。悲しみのところによりそえる、慈しみ深いお坊さんになってほしいと念じます。得度のことを聞いた方が「坊守さん、聖子ちゃんがお坊さんになることはとても、尊いことですね」と喜んで下さいました。『尊いね』そおーと一人口にしてみます

習礼を終えて、11日後、ありがとう、おめでとう、とむかえたいと思います。

ご門徒の皆様、どうぞこれからもご指導のほどよろしく願いいたします。春のお彼岸、園児の描いたあたたかい仏さまの絵と春のたくさんのお花の中で勤めさせていただきます。聖子の得度披露もさせていただきます。どうぞお参り下さいませ。

合 掌